

## 分類空間のコホモロジーについての 一注意

琉大里 手塚康成 (Michishige Tezuka)

### 序

最近、散在する単純有限群の、素体上でのコホモロジー、Adem, Milgramを中心としていくの場合には、全次元に渡って決定された。[3], [4], [6], [7]。ここでは、Mathieu群  $M_{12}$  の 3-torsion の場合を考える。尚、2-torsion の場合には、Adem-Maginnis-Milgram[3] に依って決定されている。方法は 2-torsion の場合と同様に、Webb の方法による有限群の  $P$ -局所構造を解析することで行なわれる。この結果は、Milgram 教授との共同研究というより指導というのに近い形で得られたもので、この場を借りて感謝の意を表したい。

有限単純群のコホモロジーと親密な関係にあるものとして単純連結ユニバクトリー群の分類空間のコホモロジーの Adams, Kono の結果があるが、これを Borel-De Siebenthal の定理を、 $P$ -局所構造の定理と考えることで、今後再考して見たいと思う。

## §1 結果

ここでは  $G$  を有限群,  $\mathbb{k}$  を体とする。 $BG$  を  $G$  の分类空间とすると良く知られるように、群のコホモロジーは、

$$H^*(G, \mathbb{k}) = H^*(BG, \mathbb{k})$$

と定義される。右辺は  $BG$  の特異コホモロジーである。この時 Poincaré 級数  $P_G(x)$  を

$$P_G(x) = \sum_{n=0}^{\infty} \dim_{\mathbb{k}} H^n(G, \mathbb{k}) x^n$$

と定義する。 $M_{12}$  を Mathieu 群とする時、次の定理が成立する。

**定理 A.**  $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3)$  は 多項式環  $\mathbb{F}_3[Q, L^2]$  上の有限生成自由加群である。ここに  $Q, L^2$  の次元はそれぞれ 12, 16 である。更に  $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3)$  の Poincaré 級数は

$$\frac{Q(x)}{(1-x^{12})(1-x^{16})}.$$

$$Q(x) = 1 + x^3 + 2x^4 + x^5 + x^7 + 2x^8 + 2x^9 + 3x^{10} + 4x^{11} + 2x^{12} + 2x^{13} + 2x^{14} + 4x^{15} + 3x^{16} + 2x^{17} + 2x^{18} + x^{19} + x^{21} + 2x^{22} + x^{23} + x^{26}$$

で与えられる。

**系 B.**  $H(M_{12}, \mathbb{F}_3) = \bigoplus H^{2n}(M_{12}, \mathbb{F}_3)$  の極小素因子は  $\mathfrak{P}_I, \mathfrak{P}_{II}, \mathfrak{P}_{III}$  で、

$$H(M_{12}, \mathbb{F}_3)/\mathfrak{P}_I \cong H(M_{12}, \mathbb{F}_3)/\mathfrak{P}_{II} \cong \mathbb{F}_3[Q, L^2]$$

$H(M_{12}, \mathbb{F}_3)/\mathfrak{P}_{III} \cong \mathbb{F}_3[Q, t^2]$ ,  $t^2$  の次元は 4, が成立する。

また、生成元を調べてみるとことごとく、 $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3)$  は環として  $H^*(GL_3(\mathbb{F}_3), \mathbb{F}_3)$  と同型になることがわかった。[9]。

### §2 3-局所構造

ここに詳しい定義は、Brown の君羊のコホモロジーの教科書や、Adem-Maginnis-Milgram [3]、Webb [12]、Quillen [13]、Minami [11] 等の論文を見ていただく事にして結果のみ書くことにする。 $M_{12}$  は次数 12 の対称群  $S_{12}$  の部分群とみなすことによって以下の結果を得る。

$M_{12}$  の 3-Sylow 群  $G$  は位数  $3^3$  で次で与えられる。

$$G = \{ \langle x, y \rangle \mid x^3 = y^3 = [x, y]^3 = [x, [x, y]] = [y, [x, y]] = 1 \}.$$

$G$  を  $GL_3(\mathbb{F}_3)$  の上半行列と同一視

$$x = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}, \quad y = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

とする。そして、

$$m = \begin{pmatrix} -1 & & \\ & 1 & \\ & & 1 \end{pmatrix}, \quad \ell = \begin{pmatrix} 1 & & \\ & 1 & \\ & & -1 \end{pmatrix}$$

で定義される隨伴変換で  $m(x) = x^{-1}$ ,  $m(y) = y$   
 $\ell(x) = x$ ,  $\ell(y) = y^{-1}$

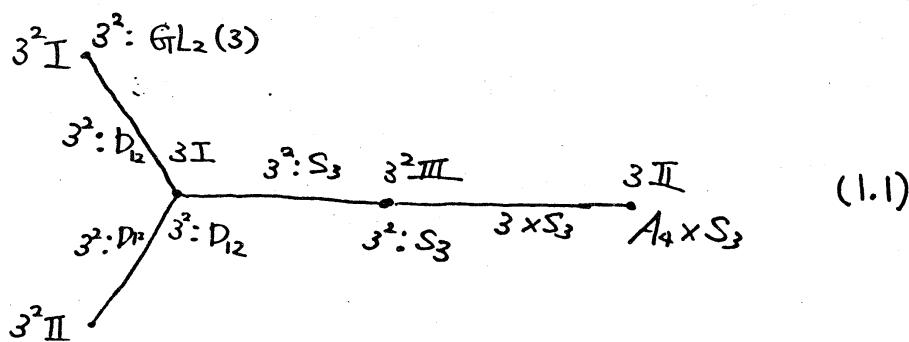
となる。この時、 $N_{M_{12}}(G) = \langle G, m, \ell \rangle = G : z^2 = 3^2 : D_{12}$ 。

$A : B$  は分列する半直積  $1 \rightarrow A \rightarrow A : B \rightarrow B \rightarrow 1$  を表す。

$M_{12}$  には、 $(\mathbb{Z}/3)^2$  の共役類質があり、これらは、 $\langle x, [x, y] \rangle = 3^2 \mathbb{I}$ ,  
 $\langle y, [x, y] \rangle = 3^2 \mathbb{I}$ ,  $\langle xy, [x, y] \rangle = 3^3 \mathbb{I}$  で代表される。

これらの  $M_{12}$  の中での正規化群は  $GL_3(\mathbb{F}_3)$  の中の正規化群と同様に,  $3^2 I, 3^2 II$  については,  $(\mathbb{Z}/3)^2 : GL_2(\mathbb{F}_3)$ ,  $3^2 III$  に対しては  $(\mathbb{Z}/3)^2 : S_3 = \langle x, y, m \rangle$  と同型になる。

位数 3 の元の共役類は 2 つで,  $\langle [x, y] \rangle$  と  $\langle xy \rangle$  が代表元で  $3^2 I, 3^2 II$  の単位元以外で生成される部分群は  $\langle [x, y] \rangle$  に共役で,  $3^2 III$  で  $\langle [x, y] \rangle$  の元以外の元で生成される部分群は  $\langle xy \rangle$  に共役となる。更に,  $\langle [x, y] \rangle = 3 I$  の正規化群は  $\langle x, y, l, m \rangle = N_{12}(Syl_3(M_{12}))$ ,  $\langle xy \rangle$  の正規化群は  $A_4 \times S_3$  と同型になる。これより Poset 空間  $A_3(M_{12})$  の商空間  $A_3(M_{12})/M_{12}$  は



となる。

## §2 $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3)$ の計算法

Webb の公式に依れば,  $M_{12}$  の  $\mathbb{F}_3$ -係数コホモロジー群  $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3)$  の Poincaré 総反復  $P \cdot S$  は (1.1) のグラフで

$$P_{M_{12}}(x) = (\text{+頂点の isotropy 群のコホモロジーの } P \cdot S) - \\ (\text{+辺の isotropy 群のコホモロジーの } P \cdot S)$$

となるが、 $H^*(\mathbb{Z}/3 \times S_3, \mathbb{F}_3) \cong H^*(A_4 \times S_3, \mathbb{F}_3)$  に注意すると、

命題 2.1.

$$P_{M_{12}}(x) = 2 P_{3^2 : GL_2(\mathbb{Z})}(x) - P_{3^2 : D_{12}}(x)$$

が得られる。

更に、 $EM_{12}$  を acyclic 自由  $M_{12}$ -空間として、 $X = A_3(M_{12})$   
 $\overset{X}{\underset{M_{12}}{\rightarrow}} EM_{12} \rightarrow A_3(M_{12})/M_{12}$  に関する、Leray スペクトル列を  
 考えると

定理 2.2.  $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3) \subset H^*(G, \mathbb{F}_3)$  で  $\theta \in H^*(G, \mathbb{F}_3) \theta$   
 $H^*(M_{12}, \mathbb{F}_3)$  に含まれる条件は、

$$\theta \in H^*(3^2 I, \mathbb{F}_3) \stackrel{GL_2(\mathbb{F}_3)}{\hookrightarrow} \theta \in H^*(3^2 II, \mathbb{F}_3) \stackrel{GL_2(\mathbb{F}_3)}{\hookrightarrow}$$

これから、 $H^*(G, \mathbb{F}_3)$  を計算すればよいことがわかる。

### § 3 $H^*(G, \mathbb{F}_3)$

$G$  の  $\mathbb{Z}$ -係数コホモロジーは Lewis に依て完全にわか  
 っているので、 $\mathbb{F}_3$ -係数コホモロジーのベクトル空間としての構造  
 は Künneth 公式からすぐわかる。そこで環構造を調べるこ  
 とにする。まず中心拡大  $0 \rightarrow \langle [x, y] \rangle \rightarrow G \rightarrow \langle \bar{x}, \bar{y} \rangle \rightarrow 1$   
 $, \langle [x, y] \rangle \cong \mathbb{Z}/3, \langle \bar{x}, \bar{y} \rangle \cong (\mathbb{Z}/3)^2$  の  $S$ , Hochschild-Serre 2<sup>nd</sup>  
 クトル列

$$E_2^{*,*} = H^*(\langle \bar{x}, \bar{y} \rangle, \mathbb{F}_3) \otimes H^*(\langle \bar{x} \rangle \times \langle \bar{y} \rangle, \mathbb{F}_3) \Rightarrow H^*(G, \mathbb{F}_3)$$

$$H^*(\langle \bar{x}, \bar{y} \rangle, \mathbb{F}_3) = \mathbb{F}_3[b_2] \otimes A(e_2), H^*(\langle \bar{x} \rangle \times \langle \bar{y} \rangle, \mathbb{F}_3) = \mathbb{F}_3[b_1, b_3] \otimes A(e_1, e_3)$$

を計算して

補題  $H^*(G, \mathbb{F}_3)$  はベクトル空間としての同型

$$\mathbb{F}_3[b_2^3] \otimes \begin{cases} \mathbb{F}_3[b_1](1, b_3, b_3^2, e_1, b_3e_1, b_3^2e_1) \oplus \mathbb{F}_3[b_3](b_3^3, e_3) \\ \oplus \mathbb{F}_3[b_1]\{e_1 \otimes e_2, b_3e_1 \otimes e_2, b_3^2e_1 \otimes e_2\} \oplus \mathbb{F}_3[b_3](e_3 \otimes e_2) \\ \oplus \mathbb{F}_3[b_1](e_1 \otimes b_2, b_3e_1 \otimes b_2, b_3^2e_1 \otimes b_2) \oplus \mathbb{F}_3[b_3](e_3 \otimes b_2) \\ \oplus \{e_1, e_3 \otimes e_2\} \oplus \{b_1, e_3 \otimes e_2 - b_3e_1 \otimes e_2\} \oplus \{e_1, e_3 \otimes b_2e_2\} \end{cases}$$

を得る。

ここで、ユーチェイン複体の中で、 $e_1 \otimes e_2, e_3 \otimes e_2 \in E_{\infty}^{1,1}$  を表わす元を具体的に書いて、すべての極大部分群  $3^2\text{I} = \langle x, [x, y] \rangle$ ,  $3^2\text{II} = \langle y, [x, y] \rangle$ ,  $3^2\text{III(a)} = \langle xy, [x, y] \rangle$ ,  $3^2\text{III(b)} = \langle x^2y, [x, y] \rangle$  に制限して、次の定理を得る。

定理 3.2.  $H^*(G, \mathbb{F}_3) \rightarrow \bigoplus H^*(3^2-, \mathbb{F}_3)$  は单射環準同型  
 $- = \text{I}, \text{II}, \text{III(a)}, \text{III(b)}$

である。

これから環構造を書きあげることがでさうが、複雑になるので省略する。Leary [7] は、Massey 積を使うことで、積を書きあげている。更に詳しいことは、The geometry and cohomology of  $M_{12}$ : II [15] を参照。

## 文献

- [1]. Adams, J. F. Lecture at Northwestern University, 1984
- [2]. \_\_\_\_\_ . a letter to A. Kono.
- [3]. Adem, A. Maginnis, Milgram, R. J. The geometry and cohomology of the Mathieu group  $M_{12}$ , J. of Algebra
- [4] \_\_\_\_\_. Symmetric invariants and cohomology of group, Math Ann.
- [5]. Brown, K. S. Cohomology of group, Springer-Verlag, GTM 87, (1982)
- [6] Hong, P. Milgram, R. J. On the geometry and cohomology of the simple groups  $G_2(q)$  and  ${}^3D_4(q)$ , preprint
- [7]. Leary, I. Thesis, Cambridge (1989)
- [8] Lewis, Gr. The integral cohomology rings of groups of order  $p^3$ , Trans. AMS, (1968) 501-529
- [9] Tezuka, M Yagita, N. The mod p cohomology of  $GL_3(\mathbb{F}_p)$  J. of Alg, 81 (1983), 295-303
- [10]. Thomas, C. B. Characteristic classes and the cohomology of finite groups. Cambridge Univ press 1986
- [11] Minami, N. Thesis, Northwestern Univ
- [12]. Webb, P, A local method in group cohomology, Comm Math. Helv, 62 (1987), 135-167.